



平成28年度 第6回 理事会議事録

日 時;平成29年3月13日(月) 19:00~21:00

場 所;回生病院 5階大会議室

出席者;高橋、宮川、荒井、泉宮、横内、小林、唐木、小原、香川、平内、松村、太田、高杉、多田、山本

欠席者;森本、安毛、時岡

議事内容; 1. 平成28年度決算報告・監査報告について

2. 平成29年度予算について

3. 第41回香川県医学検査学会について

4. 中四国支部医学検査学会準備委員会について

5. その他

1) 香川県糖尿病対策推進会議役員について

2) 輸血研究班副班長の増員について

3) 平成29年度以降の研修会参加費の取り扱いについて

4) 香臨技ホームページの求人情報について

5) 香臨技外部精度管理参加証について

議事1. 平成28年度決算報告・監査報告について

◆香臨技財産について: 泉宮経理部長より資料をもとに説明。

今年度末の通帳残高は前年度末と比較して約40万円増額している。

◆会計監査: 3/7 (火) 会計監査を高松赤十字病院にて行い問題はなかった。

議事2. 平成29年度予算について

前年と同様の予算の割り振りにしている。

議事3. 第41回香川県医学検査学会について

◆総会議案書確認

◆総会手順: 議長1名・副議長1名・書記2名・議事録確認者(同じ施設のスタッフ)2名を選定した。

◆参加費: 会員は2,000円(入会予定者も2,000円)、抄録のみは1,000円とする。

学生は無料で、抄録が必要な人は1,000円徴収する。

◆出席票・委任状: 提出期限は4/19(水)、提出先は回生病院 山本まで。

◆永年表彰者: 例年通り、賞状と記念品(カタログギフト)を授与する。

◆学会運営: 学会運営の担当はほぼ例年通り。

議事4. 中四国支部医学検査学会準備委員会について

3/25(土)、高知県と山口県の引継ぎ会に5名参加予定。情報を得た上で4月に第1回の準備委員会を開催予定。

中四国支部学会の開催に向けて、今後周知等々が必要でありホームページを整備する必要がある。

議事 5. その他

- 1) 香川県糖尿病対策推進会議役員について
役員として多田監事（香川県立保健医療大学）を推薦。第1回制度委員会に参加予定。
- 2) 輸血研究班 副班長の増員について
横内学術部長より、輸血研究班から副班長を1名増員し2名体制としたいとの要望があると相談があった。
検討の結果、今後の世代交代も踏まえて、すべての研究班について副班長2名まで可とする。ただし、生理研究班は現行通り3名。
- 3) 平成29年度以降の研修会開催について
横内学術部長より学術部会で周知・情報共有した内容について報告。
*平成29年度より各研究班の研修会参加費はすべて香臨技へ振り込む。講師料や飲み物代、交通費などは香臨技から支払う。実務委員に支払われる実務費は半日1,500円・1日3,000円とし、実務委員数は各研修会で3～4名で抑えること。
*各年度の研修会の開催は2月までに開催する。
- 4) 香臨技ホームページの求人情報について
香臨技ホームページの求人情報を有効活用するため、臨検タイムスに求人コーナーを作り周知する。
- 5) 香臨技外部精度管理参加証（成績の入った参加証の発行）について
宮川副会長より、精度管理調査は香川県が統括し行っているものなので、参加証の発行については香川県医務国保課と相談しなければならないとの回答があった。

《研修会のご案内》

① 平成29年度 一般検査研修会

連絡責任者：永田 啓代 ☎ 0877-62-1000

日 時：平成29年6月9日（金） 19：00～20：30

場 所：キナシ大林病院 3階会議室

内 容：尿中の異型細胞について 片倉 和哉（香川大学医学部附属病院）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

② 平成29年度 第1回輸血検査研修会

連絡責任者：徳住 美鈴 ☎ 087-831-7101（内線8307）

日 時：平成29年度6月10日（土） 14：00～16：00

場 所：高松赤十字病院 中央診療棟4階会議室 高松市番町4-1-3

内 容：1) 輸血検査の基礎（仮） 小黒 博之（バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社）

2) 血液製剤の基礎 小河 敏伸（香川県赤十字血液センター）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

*** 研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。**

注. 臨床検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。（四臨協は、10,000円）尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

研修会については、香臨技、および日臨技ホームページをご参照下さい。

平成28年度 香川県臨床検査精度管理研修会を終えて

宮川 朱美 (医療法人財団博仁会 キナシ大林病院・精度管理委員会委員長)

はじめに

平成29年3月26日(日)、香川県社会福祉総合センターにて香川県健康福祉部医務国保課主催による精度管理研修会が開催されました。この研修会は、平成28年度臨床検査施設及び衛生検査所外部精度管理調査(香川県・香川県医師会・香川県臨床検査技師会)の解析結果の報告会として実施されました。

さて、ご存知のように、この外部精度管理調査は、平成9年度からはじまり、平成28年度で20年目を迎えました。今回の精度管理調査は90施設の申し込みがあり88施設が参加、臨床化学、免疫血清、血液、輸血、一般、生理、微生物、病理細胞診検査の8部門において実施されました。8部門の実施を開始して今回で8年目となりました。前回同様、キナシ大林病院と三豊総合病院を拠点とし、香臨技会員をはじめとする関係者の力を借りて測定試料を配布しました。調査開始当初から、臨床化学・血液検査部門の調査は、できるだけ新鮮なヒト血清および血液を配布することをモットーとしているため、血清試料は1週間以内のプール血清から作製したものを、全血は香臨技会員ボランティアから提供していただいた血液を使用しています。まだまだ改善すべき点は多々あると思われませんが、今回も精度管理委員および協力関係者の皆様のおかげで、滞りなく調査が実施され、例年通り報告書が完成し研修会を開催することができましたことを改めて御礼申し上げます。

概 要

今回の評価では、試験的に全体評価(正解率:参加項目数のうち許容または正解項目数の割合を算出し百分率で報告)を実施し、報告書に80%以上の施設数のみ記載しました。研修会では総括で全体をグラフ化し報告しました。今回は各施設には全体評価の結果は報告していませんが、次回の精度管理調査からは今回の評価方法を吟味し、各施設に全体評価の結果を報告する予定です。

部門別の参加施設は、臨床化学検査部門79施設、免疫血清検査部門 CRP 72施設、感染症検査35施設、血液検査部門 CBC 79施設 末梢血標本作製と普通染色・白血球分類33施設、輸血検査部門43施設、不規則抗体検査31施設、一般部門 尿沈渣フォトサーベイ51施設、生理検査部門52施設、微生物検査部門 微生物検査関連フォトサーベイ24施設、病理細胞診検査部門 組織標本の染色サーベイ11施設でした。また、各部門の全項目許容範囲内または全問正解施設は、臨床化学検査部門35施設、免疫血清検査部門 CRP57施設、感染症検査34施設、血液検査部門 CBC57施設 末梢血標本作製と普通染色・白血球分類31施設、輸血検査部門 血液型42施設、不規則抗体検査31施設、一般検査部門尿沈渣フォトサーベイ36施設、生理検査部門22施設、微生物検査部門 鏡微生物検査関連フォトサーベイ22施設、病理細胞診検査部門 組織標本の染色サーベイ11施設でした。

各施設のモチベーションを高めるために平成21年度から実施している優良施設の表彰は、平成28年度は44施設が該当しました。優良施設と認定された施設には、表彰状が届いていることと思います。今後、ますます増えることを期待します。

臨床化学検査部門のドライケミストリーについては、昨年度と同様にメーカー別評価を実施し、1項目でもドライケミストリーで測定している施設には2種類の施設別報告書を送付いたしました。今回の調査で使用されていたメーカーは2社でした。精密さ、正確さ評価基準および目標値について、1社とは協議の上、設定可能でした。しかし、もう1社とは十分な協議ができなかったため、目標値の設定ができず、精密さの評価のみとなりましたことを深くお詫びいたします。今回、ドライケミストリー測定で参加した施設は20施設あり、そのうち、全ての結果が許容内の施設は5施設でした。今後も、ドライケミストリーのメーカー別評価を実施する予定ではありますが、1社は母数が少ないため、目標値の設定が難しい可能性があります。ドライケミストリーの評価方法については、今後も検討を重ねていきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

まだまだ力不足のため、参加施設の方々にはご迷惑をおかけするとは思いますが、その都度、検討と改善を重ねていきますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

● ● ● 広げよう！ 検査技師の わ 《P(Persons) C(Chain) R(Reaction)》 ● ● ●

1) 氏 名：森西 起也 (もりにし たつや)

生年月日：1990年10月28日

出身地：香川県

経 歴：学歴 平成22年4月～平成26年3月

香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

平成26年4月～平成28年3月

香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科

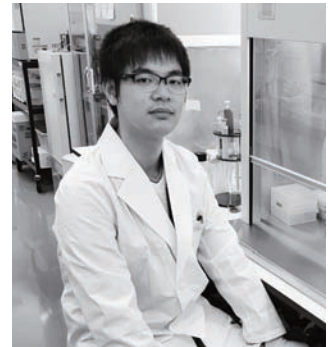
保健医療学専攻 臨床検査学分野

職歴 平成28年4月～平成29年3月

株式会社四国細胞病理センター

平成29年4月～現在

香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科 助教



2) 臨床検査技師を選んだ理由

私が臨床検査技師を選んだのは、高校1年の時に、香川県立保健医療大学の学生さんが臨床検査学科の説明に来てくれたことがきっかけです。この時に、臨床検査技師という職業を初めて知りました。そして、実際に、大学のオープンキャンパスに参加し、いろいろ見学していくにつれ、特に顕微鏡を用いて観察する病理分野と血液分野に興味をもちました。ここから臨床検査技師を目指そうと強く思いました。

3) 現在の業務内容、専門分野、興味のある分野、施設紹介

私は教育と研究の両方に力を入れています。教育では、病理検査学実習や一般検査学実習の準備や補助をしております。また、新1年生の副担任も任せていただきました。私自身が学部生時代に取り組んだことや、大学院でおこなっていた実習のサポートをした経験、そして、実際の現場で学んだ知識や技術をこれらの教育に活かしていきたいです。また、研究では、大腸癌における核内受容体PPAR- α について研究をおこなっています。大腸癌培養細胞を用いることでPPAR- α の発現や増殖能、遺伝子や蛋白の発現レベルを観察し、そして患者組織を用いることで、組織におけるPPAR- α の発現強度や局在の変化を臨床病理学的因子と比較しながら研究をすすめています。

4) 今までの苦労や失敗などの体験談、思い出に残った出来事

私が苦労したと思うことは、本学の大学院時代に、実験で求めている結果が出なかったことです。その際には、何度も同じ実験を繰り返し、反応時間や試薬量を再検討していきました。そして、新しい視点から研究を見直し、試行錯誤することで乗り越えてきました。苦労して求める結果が得られることにとても遣り甲斐を感じています。

5) 趣味、自己PR

私の趣味は、美味しいラーメン屋を見つけることです。ネットや口コミで行く店を調べ、市内から郊外、時には県外まで行きます。香川県はうどん県と知られていますが、ラーメンは付近の県から美味しいラーメン屋が進出してきています。

6) 今後の抱負

四国において臨床検査技師を養成している学校は少なく、香川県では本学のみです。ですので、医療機関に就職した際に即戦力となるような考え方や、技術、知識を身につけ、地元の医療に貢献することで、今後の臨床検査技師の地位を向上させるような人材の育成に力を入れていきたいです。

(森西起也さんには、今月から臨検タイムス香川の編集委員をお願いしています。よろしくお願いいたします。)

・ 編集後記 ・

最近よく高速バスを利用しています。関西方面は2、3時間でいけるし、バスの車内はトレイ完備、携帯電話の充電用のコンセントもあります。学会や研修会も昔と比べるとずいぶん楽に行けるようになりました。今度は、観光でゆっくりとバス旅行がしたいですね。

十川 直美 (キナシ大林病院)



～ 香臨技 求人情報 ～

現在、青冥会ミタニ藤田病院、田原内科医院、香川大学医学部附属病院、香川県済生会病院、高松市民病院、高松平和病院の6件の求人があります。詳しくは、香川県臨床検査技師会のホームページをご覧ください。

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール:kobaboobu0128@hotmail.co.jp

香臨技ホームページ:

ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001

臨検タイムス香川 通巻 261 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 森西 起也

【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成29年4月印刷・発行